



# 日本学生オリエンテーリング選手権大会 スプリント競技部門実験大会 プログラム (略称：インカレスプリント実験大会)

2014年3月7日(金)

春インカレモデルイベント、開会式、協賛トレイルイベントと同じ日  
場所：栃木県矢板市 矢板運動公園  
主催：日本学生オリエンテーリング連盟  
協賛：(有)ヤマカワオーエンタープライズ

## 挨拶

本大会開催までに至る一連の文章で書きたいことは言い尽くしていますので、プログラムの挨拶は短めにします。やっとここまで来た…が正直な偽らざる心境です。今年度はオリエンテーリングのプロとして、学連に対して新たなアプローチを色々仕掛けてきました。毘沙門山プロジェクト(早大OC大会)だけのつもりで仕掛けたところ、思いもよらない複数の申し出で急遽実現した矢板山田プロジェクト(千葉大・東工大大会)、それだけでもかなり無茶な仕掛けだなあと感じていましたが、結果的にはインカレ本番の隣接トレインで大学大会開催というのは、学生クラブの活力アップという点で、非常に大きな貢献をした事業であったと評価できると思っています。大会開催の動きは、来年も別の大学クラブで立ち上がったクラブがありますし(筑波大大大会が復活!)、何よりインカレ隣接トレインのニューマップで有意義な練習をどのクラブも行って、インカレ本戦に向けての充填ぶりも例年以上のものを感じています。その上、さらに無理を重ねてインカレスプリント実験大会もやろうというのですから、どれ位の負担が自分にのしかかるのか、無理無茶もここに至れり!という思いだったのですが、さらに2度にわたる大雪などの影響もあり、とことん重くのしかかってきました。そしてようやくインカレモデル&リレーの自分の仕事をすべて終えて、スプリントの準備に入っているのですが、学生オリエンティアへの自分の資源とたゆまない愛情を最後の搾りカス残り一滴までとことん搾りつくしたような大会であると、この大会は言えると思います。

ここまで無理してもやろうとする大会は、スプリントの国としての枠組みをきちんと作ってこなかった責任の一端は自分にもある、その思いで自分をここまで突き動かしました。スプリントって、こんなに人に見られるんだ、山オリエンテーリングと違って、こんな点ですげー面白い種目なんだ、ということを実感していただければこの実験は成功です。突き動かした思いを感じて共有していただければ、その先のことも見えてくると思います。なんか変な挨拶になりましたが、この大会はその名の通り“実験”です。色々な点検項目、および将来展望への資料・議論出しは、大会を実際にやってみて、早速日曜の幹事会、月曜の総会に提示します。エントリを自由意志で行ったことも“実験”だったのです。さてどんな結果がでるのか、それがすごく待ち通しく、先のことをまた夢見ています。

日本学連副会長 山川克則

(有)ヤマカワオーエンタープライズ 代表取締役

## 出場選手：実績等は観戦ガイドにて

### 男子選手権 (ME) 30名

松本 佳也	北海道大学 3年
藤原 大樹	岩手大学 2年
関 淳	東北大学 4年
菅野 敬雅	東北大学 4年
見目 裕之	東北大学 4年
杉村 俊輔	東北大学 3年
井鍋 寛伸	東北大学 3年
宮西優太郎	東北大学 2年
橋場 良太	東北大学 2年
阿部 稜	東北大学 2年
高橋 祐貴	新潟大学 4年
野本 圭介	筑波大学 3年
尾崎 弘和	早稲田大学 3年
真保 陽一	東京大学 4年
小島 拓也	東京大学 3年
橋本 知明	東京大学 1年
戸上 直哉	東京工業大学 2年
渡仲 祥太	名古屋大学 4年
近藤 康満	名古屋大学 4年
前田 悠作	名古屋大学 4年
細川 知希	名古屋大学 4年
堀江 悟	名古屋大学 4年
平野 大輔	名古屋大学 3年
嶋岡 雅浩	名古屋大学 3年
倉本 竜太	京都大学 4年
松下 睦生	京都大学 3年
安中 勇大	京都大学 3年
小菅 一輝	京都大学 3年
坂口 祐生	大阪大学 4年
堀 裕多	大阪大学 4年

### 女子選手権 (WE) 14名

堀口 奈保	東北大学 4年
横山 理恵	金沢大学 4年
池嶋 美佳	金沢大学 4年
五味あずさ	金沢大学 2年
柳川 梓	筑波大学 4年
稲毛日菜子	お茶の水女子大学 3年
宮川 早穂	立教大学 2年
千明 瑞希	横浜私立大学 3年
小島 優	椋山女学園大学 4年
加地沙綾子	椋山女学園大学 4年
中村由紀子	椋山女学園大学 4年
星 美沙	椋山女学園大学 3年
守屋 舞香	椋山女学園大学 2年
帯金 未歩	大阪大学 1年

※選考経緯：男子に関しては、31名の応募があり、どんな大会でも良いので、上位1/10に入ったことのある実績というのを厳格に適用する形で選考を行いました。本大会は自由意志による出場登録形式をとりましたが、この1/10という基準はなかなかいけてる基準であった、と男子に関しては感じています。女子に関しては、1/10の基準に達しない選手に関しても、申し出のあった14名全員を選考致しました。

## 大会の流れ（時間割）：特に記載の無いものは、春インカレ（ミドル&リレー）を指す。

8:30	モデルイベント、インカレ協賛トレイル受付開始
11:00	モデルイベント、インカレ協賛トレイル受付終了
12:00	モデルイベント、インカレ協賛トレイル競技終了
12:00~12:30	インカレスプリント実験大会 出場選手隔離 コントロール及び臨時構造物の設置
12:30~13:30	インカレスプリント実験大会競技

13:40~	開会式会場へ移動
14:30~15:15	スタート抽選会
15:15~15:45	開会式
15:50~16:10	テクニカルミーティング
16:10~17:00	シード選手紹介、シード選手スタート抽選
17:15~17:45	代表者ミーティング



### 出場選手隔離：12:00~12:30

12:00の10分前になったら出場選手の招集をアナウンスします。  
選手の方は着替えなどの防寒具や試合直前の飲料・食料などを持って相撲場にお入り下さい。  
モデルイベント地図の切り出し図にて、位置図を右上に示します。  
隔離後は、出場選手の方は外のトイレは使用禁止です。

相撲場の中にもトイレはあります。

隔離中に行うこと：大会MCより試合前の事前インタビュー、コントロール位置説明・バックアップラベル・チャックつき地図ビニの配布、スタート順の抽選。ナンバーカード（ゼッケン）の作成

[スタート順の抽選]シード、同一大学選手の連続などの考慮一切なしで、純粹にくじ引きでスタート順を決めます。ボード上の自分の引いた番号のところに自分のネームカードを貼り付けて下さい。

[ナンバーカードの作成]本大会では、少数精鋭の試合ですので、番号ではなくて名前ゼッケンで行きます。用紙、安全ピン、マジックは主催者が用意していますので、各自で観客に良く判るように名前のゼッケンを前後2枚作成して、着用して下さい。名前さえ大きく判りやすく書いてあれば、他のことが書いてあっても良しとします（できれば所属大学も書いて下さい）。

[eカードについて]原則各自所有のカードを使用して下さい。Myカードをお持ちで無い方は主催者がお貸しします。レンタル料は不要です。

[競技場設営]隔離時間中に、コントロールの設置、スプリント特有の臨時の通行不能物体の設営などを行います。また前走も行います。（全日本スプリントチャンピオンの谷川友太氏が走ります。）

### スタート：ME 12:31~13:00 WE 13:05~13:18 1分おき

相撲場のゲートを出発するのが各自のスタート時刻の1分前、スタート地区までは黄色テープ誘導、誘導は地面にもテープがついています。スタートからの選手の進行方向が見えない程度のところまで（フラッグの約5m手前）までまず進み、地図を受け取ります。コース面を見ないように各自で地図ビニに地図を装填します。尚、天候によっては地図ビニを使用しないで競技することも認めますので各自で自由に判断して下さい。そこからは役員の指示に従ってスタートゲートに入ります。eカードのスタートユニットのからのリフトアップでスタートです。

### 競技・コース説明：

オリエンテーリング競技の仕方についての説明は省略します。インカレミドル&リレーのプログラム、インカレ競技規則等をよく読んで同じように取り組んで下さい。スプリント特有のルールについて特に注意下さい。青黄テープ、三角コーンと連結バー、陸上のハードル等を利用して、通行不能の構造物を作ります。地図にも

それは、JSSOM 地図規定上の太い黒の線状特徴物として表記されています。高さ 2m の壁だと思って下さい。それら乗り越えてのパンチチェックは反則で、きちんとフラッグのある側に通行可能部分を通して到達するように競技を行います。ルートチョイスの他、どこが通り抜けられて、どこが通り抜けられないのかも地図からきちんと読み取る必要があります。コース距離は、通行禁止部分をきちんと回りこんだベストルートの実長で、ME3.5km (アップ 40m、)、WE3.0km (アップ 35m) …いずれも予定…OCAD 上のコース直線距離は、それぞれ ME2.5km、WE2.4km ですから、どれほど回り込みが多く、そのルートチョイスを問うたコースであるかが想像つくと思います。コントロール位置はきわめて優しく設定されています。ルートチョイスはどれが正解か読み解くというよりは、同じ程度の選択肢をどれだけや速く決断するか、を主に問うています。林の中にも入りますが、それは運動公園内の整備の行き届いた明るい林に限ります。ヤブは一切気にすることなくレースが可能です。服装も短パン、ランニング姿でも（それでは寒いですが）肌の保護上は全く問題ありません。靴の選択も自由ですが、不整地を走る用途のものより、軽いランシューズの方が良いパフォーマンスが得られると思います。

パンチングフィニッシュでレース終了です。表彰は成績確定次第直ちに行います。

**優勝賞品：**0 シューズ（いわゆる“ヒモ付き”ではありません。自分の好きな0シューズ（もしくはランシューズ）を好きなメーカー・代理店から買うことができ、そのスポンサーとなります。（写真だけ撮らせていただきますが、それ以上の duty は求めません）2 位～6 位にも何らかの**オリエンテーリンググッズ**（順位により 8000 円> 2000 円相当品）を進呈）。さらに加えて、優勝者には以降 2 年間の YMOE 社が行う**個人種目のイベントの参加費を免除**します。

**表彰：**ME、WE 各上位 6 名を表彰、インカレ公式メダルと同じメダルを授与、このスプリント実験大会獲得メダルも、恒例の「山川杯」表彰対象のメダル数に含めます。

**地図：**「矢板運動公園」JSSOM 基準による新規作成地図（YMOE 社による調査）

縮尺 1:4,000 等高線間隔 2.5m (要項から変更) 走行可能度 4 段階+通行禁止の濃い緑  
地図サイズ A4 判よりやや小さいサイズ  
前日の木曜ギリギリまで、少しでも良い地図で競技できるよう格闘して作成しています。

**観戦ガイド：**1 時間のスポーツライブショーのつもりで全体を構成します。本格的スプリントは、全体がひとつの“台本”であり、地図・コース・演出・渉外（& 障害）要件も全て一体のものです。選手はその台本に従って素晴らしいパフォーマンスをいかに発揮するかの競技になります。本大会での台本作成（ディレクター）は山川が務めます。日本の第一人者である吉田勉氏、石澤俊崇氏、加藤弘之氏にアドバイスをいただきます。MC 役は、新進マッパーの西村徳真氏に務めていただく予定です。但し実験イベントであり、マンパワーも限られていますので、やれることに限度があることはお許し下さい。また、解説付き観戦ガイド（無料）を配布しますので各所での肝となる競技ポイントを観戦と同時に、選手がルール遵守で競技を行っているか監視していただきたいと考えています。インカレスプリント立ち上げに向けてできること、できないこと、やったほうがよいことなどを見極める場として今後の議論に積極的に参加して下さい。

尚、観戦ガイドは資源の関係で観戦者全員にひとり一部行渡らない場合もあるかと思いますが、その際は何卒ご容赦下さい。何人かで見せ合って観戦いただくようお願い致します。なるべく沢山の部数用意できるよう主催者は頑張ります！

## 今後の議論：

この大会は“実験”ですので、きっちり実験結果は検証して、幹事会・総会で今後の議論をしっかりと行いたいと考えています。他の種目と同様、「学連主催」という立ち位置からの議論を期待します。次年度では正式にインカレスプリントを立ち上げ、その中で学生主体、学連主催という原則の元、さらに議論を重ねていくという形を考えています。

**参考文献：**非常に限られた時間・資源の中でやっとここまでできました。拙い文章ながらも今まで提案および資料を以下に参考文献としてあげておきます。時期によって内容が違う部分は、その後の議論を経て修正された事項で、時期の新しい方の記述が正しいものです。

- ・ 昨年 10 月総会で提出したインカレスプリント大会創出の提案書  
[http://www.orienteering.com/~ymoe/IC\\_1310.pdf](http://www.orienteering.com/~ymoe/IC_1310.pdf)
- ・ 昨年の全日本スプリント後に開催された JOA 主催“スプリントフォーラム”に提出した資料  
想定 Q&A 集  
<http://www.orienteering.com/~ymoe/forum.pdf>
- ・ その全日本スプリントでの競技解説（西村徳真による）ルートチョイスを特に意識  
[http://shigaorien.nomaki.jp/me\\_analysis.pdf](http://shigaorien.nomaki.jp/me_analysis.pdf)
- ・ また、World of O というサイトで、世界のスプリント（もちろん他の種目も）の映像や地図のアーカイブをいくつか閲覧することができます。非常に参考になるサイトです。  
<http://worldofO.com/>
- ・ そして本大会の募集要項  
[http://www.orienteering.com/~ymoe/event/2014/ICsprint\\_begin/ICsprint\\_begin\\_guide.pdf](http://www.orienteering.com/~ymoe/event/2014/ICsprint_begin/ICsprint_begin_guide.pdf)

## 問合せ／意見・アイデアの募集（&協賛していただける事業者の方の募集）：

（有）ヤマカワオーエンタープライズ 山川克則まで

メール：[rmo-s.yamakawa \[at\] nifty.com](mailto:rmo-s.yamakawa@nifty.com) 電話：090-8041-4673

スプリントの真剣な競技環境の提供は最早 must と思いたって言い出してから、色々な人の意見を取り入れて中身がかなり変わりました。これから多くの人々の有効な意見を取り入れながら、如何に盛り上げられるか、如何にこの競技にも真剣に取り組めるか、その環境づくりにプロのオリエンテーリング提供者の人生終盤の役割として取り組んでいきたいと考えています。引き続き、また大会終了後も宜しくお願いします。